

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの

作成日: 平成 30 年 1 月 18 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化しているので、新しい参加委員を増員し、会議が今以上の充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員として、利用者家族や地域で活動している複数の民生委員、薬剤師、小学校の校長、公民館館長等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員が頑張っているが、これからのグループホームの在り方を検討し、2025年に向けて、職員の介護技術の向上と意識の高揚を図っていく。	職員の希望や経験、習熟度に合わせて、外部研修に交代で参加してもらい、知識や技術の習得に取り組み、職員の視野を広げて意識の高揚を図り、意欲に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。